

平成28年11月17日

学校法人聖ヶ丘学園聖ヶ丘教育福祉専門学校  
平成28年度教育課程編成委員会報告書

学校法人聖ヶ丘学園 聖ヶ丘教育福祉専門学校校長  
教育課程編成委員会委員長  
井上 貴 恭

平成28年度、教育課程編成委員会を実施しましたので、下記のとおり報告します。

1 委員 <11名>

番号	氏名	所属
1	園田 菜摘	横浜国立大学教育人間科学部准教授
2	斉藤久美子	学校法人聖ヶ丘学園聖ヶ丘教育福祉専門学校附属育和幼稚園副園長
3	江津 秀子	学校法人聖ヶ丘学園八幡橋幼稚園園長
4	秋山菜穂美	学校法人聖ヶ丘学園うみの風保育園園長
5	雨池ヒサ子	学校法人聖ヶ丘学園にじの風保育園園長
6	増田ツヤ子	学校法人聖ヶ丘学園ひかりの風保育園園長
7	井上 貴恭	学校法人聖ヶ丘学園聖ヶ丘教育福祉専門学校校長
8	古澤 昇	同 副校長
9	遠藤 政男	同 事務長
10	今村 雅彦	同 教務部長
11	亀田 良克	同 就職指導部長

陪席者 <3名>

学校法人聖ヶ丘学園聖ヶ丘教育福祉専門学校

柳田 葉子実習部員(第2回のみ) 田島 あぐり教務部員 清水 洋生教務部員

2 教育課程編成委員会開催日時

第1回 平成28年8月8日(月) 15:00~17:00

第2回 平成28年9月26日(月) 15:00~17:00

<開催場所> 聖ヶ丘教育福祉専門学校 1階 会議室

3 委員会次第

第1回委員会次第

- (1) 平成28年度教育課程編成委員会の体制について
- (2) 学校長挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 平成27年度教育課程編成委員会報告書の措置状況について
- (5) 平成28年度教育課程改善方策について
- (6) 意見交換
- (7) 議事内容及び日程等
- (8) その他

## 第2回委員会次第

- (1) 委員長挨拶
- (2) 平成28年度教育課程改善報告
- (3) 質疑応答
- (4) 平成28年度及び平成29年度教育課程編成について
- (5) 次回の議事内容及び日程等
- (6) その他

## 4 議事報告

### (1) 平成28年度教育課程編成改善報告

#### ① 学生による授業評価アンケートの実施

後期授業アンケートを実施するに当たり、アンケート項目11の自由記述欄の見直しについては、授業の改善という観点から問の文言の変更及び学生全員に事前指導を行ったことにより建設的な意見を書く学生が増えたこと並びに学校全体の満足度得点平均が前期の3.22から3.28と0.06ポイント向上したことから、改善の方向に向かっているといえる。そのため、提言にある学生の学籍番号の記載及び自由記述欄の質問項目の文言の見直しについては、適切な効果測定を行うためにも、このままの様式で継続することによいのではないかと。

複数科目を持つ教員の授業改善に向けた振り返りと今後の指導の自由記載様式の改善についても、教員の負担軽減の配慮の必要性がないのであれば、本校独自のやり方で取り組まれてはどうか。ただし、自由記載の内容については、教員の感想のみに終わるのではなく、授業改善に向けた記述となるよう検討されたい。

#### ② 常勤及び非常勤教員の協業体制の構築

同一科目担当者が協業体制を図るために、非常勤講師打合せにおいて、分科会が情報交換の場としてあるのは適切である。専門学校だから出来ることである。

今回、授業改善に向け、保育という視点から教員相互の授業内容について情報交換を行い、教員側からも継続実施を望む声が聞かれたことは、大きな前進といえる。今後も一層の充実を図っていただきたい。

#### ③ 文章力向上

昨年度、文章力向上においては、実習日誌を教材として使用し、教職実践演習において学生が必要度や当事者意識を持って取り組んだことから、文章力向上の効果はあったといえる。しかし、教職実践演習は卒業年次生が対象のため、より早い年次での文章力向上の取り組みが必要と考える。

今年度、語彙を増やすことや名文に親しむことをねらいとして、1年次生から読書活動に取り組まれたことは、学生の文章力の向上が大いに期待できる。ぜひ継続実施願いたい。

卒業年次生に対し保育実践演習の一年間の活動のまとめを発表する場を設けたことは、プレゼンテーション能力やテーマに沿った関連図書の読解力、まとめる力等の向上が大いに期待できる。

#### ④ 一般常識及びマナー等の習得に向けて

学生が社会に出る際に身に付けてほしい一般常識やマナー等について、現場の先生や本校の教員の提案を基に作成した資料「チョットひとこと」を学生に教授して学生の教養を高めており、皆さんの尽力を多としたい。今年度のような方法での実施を次年度も継続するよう望みたい。

「言葉美人になろう」を目標として、前期のテーマとして「あいさつをしよう」に取り組む、気持ちのよい挨拶が校内で聞かれるようになったことは好ましい。学生に言葉遣いを意識させることは、話す力の向上や国語力の向上にも繋がると考える。ぜひ今後も継続実施願いたい。

## (2) 平成 29 年度教育課程編成改善方策について

### ① 学生による授業評価アンケートの継続実施

次年度も今年度の様式で継続実施として、効果測定の結果を報告願いたい。

教員の授業改善に向けた振り返り用紙の工夫については、複数科目を担当する教員からは負担の軽減を望む声も上がっておらず、また、期限内に全員提出しているとの状況から用紙の形式の変更は見送るものの、記述内容については、授業改善に向けた記述となるよう項目の設定等につき検討されたい。

### ② 常勤及び非常勤教員の協業体制の構築

非常勤講師打合せにおいて、分科会が情報交換の場として根付いてきたことが感じられる。今後も様々な方策を検討し継続することを期待するとともに、引き続き成果を報告願いたい。

### ③ 文章力等の向上の取り組み

平成 29 年度も文章力及び表現力向上を重点とした取り組みを継続実施すべきである。1 年次生からの文章を書く上で有用となる読書活動及び卒業年次生におけるプレゼンテーションは継続実施を望む。

特にプレゼンテーション能力の向上については、現場でも求められていることでもあり重点的に取り組むことを切望する。

その他、学力向上の取り組みとして、1 年次生の国語の授業において、書く活動について推敲指導も取り入れ、コマ数を増やして取り組んでいただきたい。

子どもたちの日本語の教師となれる保育者を目指し、言葉遣いも意識できるよう学期初めのマナー月間の取り組みをさらに充実させ、成果を報告願いたい。

### ④ 一般常識やマナー等の習得

学生の携帯電話やソーシャルネットサービス (SNS) の使い方については、被害者又は加害者にならないよう指導を検討いただきたい。

敬語については、ロールプレイを取り入れるなど、TPOにあわせた場面を意図的、具体的に設定して、学生のうちから身に付けさせてもらいたい。

### ⑤ 実習指導について

本校の特色である通年実習については、「園を知る。子どもを知る」ことをねらいとし、昨年度までの一日実習から今年度は、半日実習に変更となっている。現場として

は、変更のねらいは理解できるものの、中途半端な感じが否めない。現場と連携及び協力しながら進めることを切望したい。

実習指導の年間計画には、命を預かる保育士の仕事の責任と自覚を涵養する内容を更に盛り込んでほしい。

子どもの命を預かる保育業務のリスクマネジメントについては、更に学生に浸透するよう様々な講師の講話を聞く機会を設けたり事例を交えた学びを計画したりするなど指導の工夫を図っていただきたい。

以上